

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education



発行日 2004年 7月31日  
 発行所 教育システム情報学会  
 発行者 岡本敏雄  
 〒661-8520 尼崎市南塚口町7-29-1  
 園田学園女子大学情報教育センター内  
 TEL 06-4961-6507 FAX 06-4961-6508  
<http://www.jsise.org/>  
 E-mail: secretariat@jsise.org

## ニュース・レター No.130



### 第 29 回全国大会



e-Learning における新たな教育学の構築を目指して

### 大会日程のお知らせ

第 29 回全国大会は、ぜひ初日のワークショップからご参加ください。

大会受付は、8月20日(金)14:00【第1日目】から開始いたします。

本年度の全国大会は、今年の猛暑にも負けない勢いで、250件を超える発表の申込がありました。

香川大学での熱い3日間をともに過ごしましょう。

開催日時：2004年8月20日(金)14:00～・21日(土)・22日(日)17:00まで

場 所：香川大学 幸町キャンパス(教育学部)

大会HP：<http://jsise2004.eng.kagawa-u.ac.jp/>

#### 8月20日(金)【第1日目】

14:00～	受 付				
	<b>ワークショップA</b> 「高等教育でeラーニングは本当に活かせるのか?」	<b>ワークショップB</b> 「協調学習が拓く教育の未来」	<b>ワークショップC</b> 「今後の高等学校の教科「情報」ならびに大学における情報教育を考える」	<b>ワークショップD</b> 「実践的教育システムデザイン」	<b>ワークショップE</b> 「e-教授学を考える」
15:00～18:00	オーガナイザー eラーニング技術特別委員会 ＜第1会場＞	オーガナイザー CSCLと支援技術委員会 ＜第2会場＞	オーガナイザー 情報教育委員会 ＜第3会場＞	オーガナイザー 米澤宣義(工学院大学) ＜第4会場＞	オーガナイザー e-Pedagogy 創生委員会 ＜第5会場＞
18:00～18:30	香川大会特別企画 「CAI 事始め、そして、本学会への期待」 コーディネータ 山崎敏範(香川大学) ＜第5会場＞				
18:30～	ウェルカム・パーティー <生協食堂(大会会館内)>				



# ★ おねがい ★



**8月6日**を過ぎますと、「教育システム情報学会全国大会事務局」の郵便局払込取扱票でのお支払はできません。大会当日に受付にてお支払いいただくこととなります。事前払込にご協力をおねがいします。  
**論文集、懇親会費は、事前のお値段とは異なりますので、ご注意ください。**

## 大会日程

### 8月21日(土) [第2日目]

9:00~	受 付									
9:30~11:30	企画セッションA 「組織内教育におけるe-Learningの新しい展開」 オーガナイザ 仲林清 (NTTレゾナント) 松居辰則 (早稲田大学) <第1会場>	企画セッションB 「e-Learning 向けの動的デジタル教材の制作と配信」 オーガナイザ 磯本征雄 (岐阜聖徳大学) 野崎浩成 (愛知教育大学) <第2会場>	企画セッションC 「学習モデルの再考と知的学習支援システム」 オーガナイザ 小西達裕 (静岡大学) 伊藤紘二 (東京理科大学) <第3会場>	A1:一般講演 協調学習 <第4会場>	A2:一般講演 知的学習環境1 <第5会場>	A3:一般講演 情報倫理 <第6会場>	A4:一般講演 語学教育1 <第7会場>	A5:一般講演 マルチメディア利用 <第8会場>		
11:40~12:25	理事会・評議会 <教育学部第3会議室(大会議室)>									
12:30~13:00	総 会 <611 講義室>									
13:00~14:00	特別講演 「高等教育の構造改革」 講師:文部科学省高等教育局大学振興課長 小松 親次郎 <611 講義室>									
14:15~16:05	パネル討論会 「高等教育とe-Learning」 モデレータ:電気通信大学大学院教授 岡本敏雄(学会長) パネリスト:不破泰(信州大学) 植野真臣(長岡技術科学大学) 梶田将司(名古屋大学) 三石大(東北大学) 指定討論者:伊藤健二(先進学習基盤協議会) <611 講義室>									
16:15~18:15	B1:一般講演 情報教育 <第1会場>	B2:一般講演 e-ラーニング1 <第2会場>	B3:一般講演 プログラミング教育1 <第3会場>	B4:一般講演 インターネット応用 <第4会場>	B5:一般講演 教育方法・評価 <第5会場>	B6:一般講演 生体・知覚情報 <第6会場>	B7:一般講演 教育実践システム1 <第7会場>	B8:一般講演 学習コンテンツ <第8会場>	ポスター/デモセッション <第9会場>	
18:30~20:30	懇親会 <リーガホテルゼスト高松>									

企業展示会 第012会場

## 8月22日(土)【第3日目】

9:00~	受 付								
9:30~11:30	企画セッションD 「インターネット新技術による学習環境の展開」 オーガナイザ 米澤宣義 (工学院大学) 佐々木整 (拓殖大学) <第1会場>	企画セッションE 「高等教育におけるICT利用システム」 遠隔教育、生涯教育を含む オーガナイザ 黒瀬能幸 (近畿大学) 渡辺成良 (電気通信大学) <第2会場>	企画セッションF 「情報科教育法の実践と評価」 オーガナイザ 松永公廣 (摂南大学) 西野和典 (九州工業大学) <第3会場>	C1:一般講演 コラボレーション <第4会場>	C2:一般講演 知的学習環境2 <第5会場>	C3:一般講演 e-ラーニング2 <第6会場>	C4:一般講演 語学学習2 <第7会場>	C5:一般講演 教育実践・評価 <第8会場>	ポスター/デモセッション <第9会場>
11:30~13:00	昼 食								
13:00~15:00	D1:英語セッション <第1会場>	D2:一般講演 認知・メタ認知 <第2会場>	D3:一般講演 プログラミング教育1 <第3会場>	D4:一般講演 インターネット応用2 <第4会場>	D5:一般講演 教育方法・評価2 <第5会場>	D6:一般講演 e-ラーニング3 <第6会場>	D7:一般講演 教育実践システム2 <第7会場>		ポスター/デモセッション <第9会場>
15:10~17:00	<p>パネル討論会 教科「情報」- 初等教育から高等教育における先進的な実践事例に学ぶ -</p> <p>モデレータ: 富山大学助教授 黒田卓</p> <p>パネリスト: 小早川覚(屋島小学校)</p> <p>森好平(古高松中学校)</p> <p>由良弘志(飯山中学校)</p> <p>向井淳彦(高松北高校)</p> <p>林敏浩(香川大学総合情報基盤センター)</p> <p>松下文夫(香川大学教育学部)</p> <p>&lt;611 講義室&gt;</p>								

企業展示会  
第3会場

大会参加費 参加費等 7,000円 (事前申込の場合は、6,000円)

(注) 参加費等には、参加費1,000円、論文集6,000円(事前申込は、5,000円)を含みます。

論文掲載費 1,000円 (論文1編につき。企画セッション、一般講演、ポスター・デモセッションでの発表を対象とします。)

懇親会費 6,000円 (事前申込み 5,000円)

事前参加申込締切 2004年8月6日(金) **お急ぎください。**

大会事務局 〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

香川大学工学部信頼性情報システム工学科 山崎研究室気付

教育システム情報学会第29回全国大会事務局 e-mail info@jsise2004.eng.kagawa-u.ac.jp

# 教育システム情報学会

## 第 30 回通常総会開催通知

会 員 各位

教育システム情報学会

会 長 岡本 敏雄

教育システム情報学会の本年度通常総会を下記のとおり開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、当日ご出席いただけない方は、同封の「委任状」を同封の返信用封筒で、本部事務局へ8月16日までにご送付ください。

### 記

- 1 , 開催日時 2004 年 8 月 21 日 ( 土 ) 12 : 30 ~ 13 : 00
- 2 , 開催場所 香川大学 ( 611 講義室 )
- 3 , 議 案 第一号議案 2003 年度活動報告に関する件  
第二号議案 2003 年度決算報告および監査報告に関する件  
第三号議案 2004 年度活動計画案に関する件  
第四号議案 2004 年度予算案に関する件

議案は当日変更・追加もあることを、あらかじめご了承ください。

## 講演プログラム

8月20日(金) 15:00～18:00 ワークショップ

WA	ワークショップA: 高等教育でeラーニングは本当に活かせるのか?	第1会場(411講義室) 15:00～18:00 オーガナイザ eラーニング技術特別委員会
WA-1	高等教育でeラーニングを本当に活かせるのか?	小松秀園(NTTラーニングシステムズ株式会社)
WA-2	Eラーニング専門職大学院設立に向けて - ビジネス・ブレイクスルー大学院大学(専門職大学院) -	伊藤泰史(株式会社ビジネス・ブレイクスルー)
WA-3	信州大学インターネット大学院・大学(1) - 評価と今後の計画 -	不破泰・國宗永佳(信州大学大学院工学系研究科), 新村正明(信州大学工学部), 和崎克己(信州大学大学院工学系研究科), 師玉康成・中村八束(信州大学工学部)
WA-4	高等教育でeラーニングは本当に活かせるのか?	大倉孝昭(大谷女子大学)
WB	ワークショップB: 協調学習が拓く教育の未来	第2会場(412講義室) 15:00～18:00 オーガナイザ CSCLと支援技術委員会
WB-1	協調学習の基盤技術	池田満(北陸先端科学技術大学院大)・伊東幸宏(静岡大学)・井上智雄(筑波大学)・大島純(静岡大学)・緒方広明(徳島大学)・酒井三四郎(静岡大学)・香山瑞恵(専修大学)・原潔(日本ユニシス・ソフトウェア)
WC	ワークショップC: 今後の高等学校の教科「情報」および大学における情報教育を考える	第3会場(413講義室) 15:00～18:00 オーガナイザ 情報教育委員会
WC-1	今後の高等学校の教科「情報」および大学における情報教育を考える	高橋参吉(千里金蘭大学)・布施泉, 岡部成玄(北海道大学)・河村一樹(東京国際大学)・中條道雄(関西学院大学)
WD	ワークショップD: 実践的教育システムデザイン	第4会場(311講義室) 15:00～18:00 オーガナイザ 米澤宣義(工学院大学)
WD-1	表計算における学習促進システムのデザイン	松永公廣(摂南大学)
WD-2	タブレットCDを活用した演習中心の授業デザイン	佐々木整(拓殖大学工学部)
WD-3	モバイル情報端末を使用した授業デザイン	樋川和伸(金沢学院大学)
WE	ワークショップE: e-教授学を考える	第5会場(312講義室) 15:00～18:00 オーガナイザ e-Pedagogy 創生委員会
WE-1	e-教授学を考える	坂元昂(e-Pedagogy創生委員会担当理事)・小柳和喜雄(奈良教育大学)・菅井勝雄(大阪大学)・西之園晴夫(佛教大学, NPO法人学習開発研究所)・平田謙次(産能大学)

8月21日(土) 9:30～11:30 企画セッション・一般講演

TA	企画セッションA: 組織内教育におけるe-Learningの新しい展開	第1会場(411講義室) 9:30~11:30 オーガナイザ 仲林清(NTTレゾナント)・松居辰則(早稲田大学)
TA-1	e-Learning コンテンツ/サービスにおける品質保証の概念とモデル	平田謙次・松本馨(産能大学)・栗山健(学習研究社)・池田満・林雄介(北陸先端科学技術大学院大学)
TA-2	e-Learningを利用した工学教育における教育支援システムの検討	大島直樹・瀧本浩一・赤井光治・浜本義彦(山口大学工学部)・安藤竜馬((有)エコマス)・藤川昌浩((有)デジタルマイスター)
TA-3	自己啓発意欲に富む組織文化の醸成を目的としたe-Learningシステムの開発と試行	田中宏和・納富一宏(神奈川工科大学情報学部)
TA-4	複数年度にわたるインストラクショナルデザインを用いた授業改善の研究 - 高等教育における手続きの知識教授方略の事例 -	橋本諭(青山学院大学)・齋藤裕(早稲田大学)・堀内淑子(日本ユニシス・ラーニング株式会社)・玉木欽也(青山学院大学)
TA-5	IT教育向けデスクトップ管理ツール「MultiVNC」の開発	上原光晶・大橋拓郎・中山亮・川本良太・北川健司・千葉大作((株)アルファシステムズ)
TA-6	SCS集中講義「eラーニングファンダメンタル」の事例分析	鈴木克明・根本淳子(岩手県立大学)
TA-7	QTI規格に準拠したオンラインテストシステムの開発	仲林清・中村明仁・加賀田俊(NTTレゾナント株式会社)
TA-8	インストラクショナルデザイン技法UNIKIDS による開発事例報告	堀内淑子・田中信也・樋口洋子・日南進(日本ユニシス・ラーニング株式会社)
TB	企画セッションB: e-Learning 向け動的デジタル教材の制作と配信	第2会場(412講義室) 9:30~11:30 オーガナイザ 磯本征雄(岐阜聖徳学園大学)・野崎浩成(愛知教育大学)
TB-1	アイマークレコーダを用いたeラーニングのコンテンツ評価	安藤雅洋・植野真臣(長岡技術科学大学)
TB-2	環境教育のための「水と緑の3次元都市モデル」をウォークスルーするデジタル教材の自動制作	杉原健一(岐阜経済大学)
TB-3	電子マネー学習教材の開発 ~ 高等学校 普通教科「情報」における授業実践 ~	本多裕子・梅田恭子・野崎浩成・江島徹郎・平田賢一(愛知教育大学)
TB-4	メディアリッチなラーニングコンテンツに対応したオーサリングシステムの開発	対馬勝英・植野雅之・西木毅(大阪電気通信大学)・大塚喬之(知的クラスター)
TB-5	映像アノテーションによる講義映像を用いた自主学習教材の制作と配信	阿倍博信・佐香清二(三菱電機株式会社)・濱谷英次(武庫川女子大学)
TB-6	中学校におけるアニメーションFlashを用いた図形学習の実践	松永利一郎(佐賀大学大学院教育学研究科)・角和博(佐賀大学文化教育学部)
TB-7	ストリーミング動画配信システムを組み込んだLMSの構築とその利用	二宮利江・本田敏明(茨城大学教育学部)
TC	企画セッションC: 学習モデルの再考と知的学習支援システム	第3会場(413講義室) 9:30~11:30 オーガナイザ 小西達裕(静岡大学)・伊藤紘二(東京理科大学)
TC-1	自律的英語学習を支援するデジタル・ツールとWebの活用	住政二郎・金川由紀(関西大学大学院)・北村裕(関西大学)
TC-2	メッセージの意図とコミュニケーション効果	岡田政則・樋川和伸(金沢学院大学基礎教育機構)
TC-3	自己成績管理方式による教育実践システム	沢恒雄(愛知学泉大学コミュニティ政策学部)
TC-4	日本語対話訓練システムにおける学習者へ誤りを指摘する機構の設計	葉袋直貴・白鳥雄史(静岡大学)・伊藤敏彦(北海道大学)・小西達裕・近藤真・伊東幸宏(静岡大学)
TC-5	手書き入力電子教材の開発と実践	原克彦(園田学園女子大学)・梶本佳照(三木市立教育センター)・尾崎さとみ・藤本辰男(三木市立緑が丘東小学校)・伊藤剛和(園田学園女子大学)・石垣一司・田村弘昭・岩山尚美(株式会社富士通研究所)
TC-6	明示的知識共有のための問題解決協調学習支援システム	金子浩史・長谷川啓行・三原栄輔・嶋原邦夫・長谷川健治・山地典顕・掛川淳一・藤井雅弘・伊丹誠・伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部電子応用工学科)
TC-7	再利用可能な問題型の組み合わせによる問題解決学習支援システム開発環境	長谷川啓行・金子浩史・三原栄輔・嶋原邦夫・長谷川健治・山地典顕・掛川淳一・藤井雅弘・伊丹誠・伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部電子応用工学科)
A1	一般講演: 協調学習	第4会場(311講義室) 9:30~11:30 座長 池田 満(北陸先端科学技術大学院大学)・田村恭久(上智大学)

A1-1	優秀レポートの提示による間接的協調学習	田中規久雄(大阪大学大学院法学研究科)
A1-2	組織知の創造・継承における調整パターンを用いた協調場設計支援環境の構築	武内雅宇・田中庸平(大阪大学産業科学研究所)・林雄介・池田満(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科)・溝口理一郎(大阪大学産業科学研究所)
A1-3	協調学習支援環境iDAPの開発	河野幸雄・佐々木大輔(上智大学院理工学研究科)・田村恭久(上智大学理工学部)
A1-4	テキストベース議論におけるキーワード遷移に基づく話題転換点認識システムの開発	桂剛(上智大学大学院理工学研究科)・田村恭久(上智大学理工学部機械工学科)
A1-5	初心者を対象としたビジネスゲーム用ツールの開発	北川博美・河野篤(中部学院大学短期大学部経営学科)
A1-6	掲示板型ツール「コラボード」と「コラボード広場」による院内学級での協調学習 — 院内学級での遠隔協調学習におけるシステム構築 —	山本裕一・西堀ゆり(北海道大学情報基盤センター)
A1-7	オープンソースのeラーニングシステムを用いた協調学習の設計	吉崎弘一(園田学園女子大学)
A1-8	CSCLにおけるグループ構成と役割配分の手法	側由実・神田奈美・渡辺成良(電気通信大学大学院電気通信学研究科人間コミュニケーション学専攻)

---

A2 一般講演: 知的学習環境1 第5会場(312講義室) 9:30~11:30  
座長 平嶋宗(広島大学)・松原行宏(広島市立大学)

---

A2-1	複数の理解支援手法を持つ教育システムに関する研究	中村学・川口佳樹・岩根典之・大槻説乎・松原行宏(広島市立大学情報科学部)
A2-2	操作体験を重視したVR型の初等力学教育システム	井上将道・松原行宏・中村学・岩根典之(広島市立大学情報科学部)
A2-3	部分構造交換法とそれを用いた学習ゲームの作成	梅津孝信・平嶋宗(広島大学大学院工学研究科)
A2-4	類推を用いたカテゴリー化による学習支援	久保田里美・國近秀信(九州工業大学大学院情報工学研究科)・平嶋宗(広島大学工学部)・竹内章(九州工業大学情報工学部)
A2-5	機械機構の動作理解支援システムの構築	渡邊滋之・小林燃・小西達裕・伊東幸宏(静岡大学情報学部)
A2-6	決定木を用いた学習者レベルの予測	菅谷克行(東京大学先端科学技術研究センター)
A2-7	パソコンで体験する試行錯誤とその評価	田中邦宏(大阪府立工業高等専門学校)

---

A3 一般講演: 情報倫理 第6会場(312講義室) 9:30~11:30  
座長 工藤英男(大阪成蹊大学)・高橋参吉(千里金蘭大学)

---

A3-1	高専の共通科目「情報」実施における情報倫理知識と意識の縦断的变化	西本実苗(関西学院大学文学研究科)・下倉雅行・金田忠裕(大阪府立工業高等専門学校)・高橋参吉(千里金蘭大学人間社会学部)
A3-2	インターネットにおける情報倫理に関する意識調査(7)	内田眞司(近畿大学工業高等専門学校)・工藤英男(大阪成蹊大学)・吉川博史(太成学院大学)
A3-3	情報倫理と法に対する意識の相違	金山茂雄(拓殖大学商学部)・経営経理研究所・言語文化研究所)・加藤あけみ(静岡福祉大学社会学部)
A3-4	情報倫理ビデオ教材の効果と逆効果	布施泉・岡部成玄(北海道大学情報基盤センター)
A3-5	大学における知的財産取扱規定の現状と課題	木川裕(武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部)
A3-6	ネット社会における情報倫理教育	河俣英美(大阪大学大学院法学研究科博士後期課程)
A3-7	教師を目指す学生の情報倫理	木川裕(武蔵野学院大学)・武井順介・宮崎智絵(立正大学)
A3-8	情報倫理意識養成システムの構築と検証	三浦一城・山下倫範・宮田大輔(立正大学地球環境科学部環境システム学科)

---

A4 一般講演: 語学教育1 第7会場(322講義室) 9:30~11:30  
座長 伊丹誠(東京理科大学)・山下直子(香川大学)

---

A4-1	中国語母語話者のための日本語学習システム - 熟語データベース構築と利用 -	盧凜(香川大学工学部)・山下直子(香川大学教育学部)・富永浩之・山崎敏範(香川大学工学部)
A4-2	映像と関連付けたフィードバックを支援する英語プレゼンテーション復習システムの試作	山田政寛(東京工業大学大学院社会理工学研究科)・小湊啓爾(アップルコンピュータ株式会社)・赤堀侃司(東京工業大学大学院社会理工学研究科)

A4-3	CEASを利用した英語デジタル教材の制作と配信	深田将揮・金川由紀・住政二郎(関西大学大学院)・北村裕(関西大学)
A4-4	外国語科目における学習モチベーション向上へのインターネット利用方法	松浦宏之・寺本光雄・吉川博史・李東彦(太成学院大学経営情報学部, 人間学部)
A4-5	「安全作業のための英語」教材について	足立圭介・深田将揮・住政二郎(関西大学大学院)・北村裕(関西大学)
A4-6	リズム表示と音声の読み聞かせを組み合わせた英語表現獲得支援システム	秋葉裕司・中村宏・小松崎聖・掛川淳一・藤井雅弘・伊丹誠・伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部電子応用工学科)
A4-7	表現使用コンテキストの比較参照による日本語表現の獲得支援	海野俊介・掛川淳一・藤井雅弘・伊丹誠・伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部電子応用工学科)

---

A5 一般講演: マルチメディア利用 第8会場(433講義室) 9:30 ~ 11:30  
座長 掛川淳一(東京理科大学)・冬木正彦(関西大学)

---

A5-1	体験的学習を目的とする立体視操作システムの開発環境の提案	花房佑馬・井上貴史・富永浩之(香川大学工学部)
A5-2	Macromedia Flash を用いたゲーム制作の演習	榊井猛・梶木克則(甲子園大学現代経営学部)
A5-3	音声利用ITSにおけるあいづちによる学習態度支援の試み	塚原渉・関一也・岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
A5-4	人型ロボットの教育メディアとしての利用に関する研究	片山滋友・日當正幸・飯田直樹・岡崎好孝(日本工業大学)
A5-5	CyberGloveを用いたO3-logoでのアニメーション生成支援	大畠芳文・対馬勝英(大阪電気通信大学大学院)
A5-6	o3-logoにおけるFASTRAKを用いたオブジェクト操作・編集支援	山本祐樹・対馬勝英(大阪電気通信大学大学院)
A5-7	地理教育支援のための3次元地形表示システムとそのデータ構造	穴田浩一(早稲田大学高等学院)・小林純(日本大学文理学部)・土田賢省(東洋大学)・宮寺庸造(東京学芸大学)・本橋友枝(関東学院大学)・夜久竹夫(日本大学文理学部)
A5-8	リソースへのアノテーションによる知識形成の支援	石丸豊・石原正樹・高崎晃一・掛川淳一・藤井雅弘・伊丹誠・伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部電子応用工学専攻)

### 8月21日(土) 13:00 ~ 14:00 特別講演

---

L1 特別講演: 高等教育の構造改革 611講義室 13:00 ~ 14:00  
講師 小松親次郎(文部科学省高等教育局大学振興課長)

---

### 8月21日(土) 14:15 ~ 16:05 パネル討論会I

---

P1 パネル討論会I: 高等教育とe-Learning 611講義室 14:15 ~ 16:05  
モデレータ 岡本敏雄(学会長), 指定討論者 伊藤健二(先進学習基盤協議会)

---

P1-1	高等教育とe-Learning	岡本敏雄(電気通信大学大学院)
P1-2	信州大学インターネット大学院・大学(1) - 経緯と現状 -	不破泰・國宗永佳(信州大学大学院工学系研究科)・新村正明(信州大学工学部)・和崎克己(信州大学大学院工学系研究科)・師玉康成・中村八東(信州大学工学部)
P1-3	コンパクトなeラーニング運営	植野真臣(長岡技術科学大学工学部)
P1-4	高等教育機関における教育の質的改善のためのコース管理システム	梶田将司(名古屋大学情報連携基盤センター情報基盤システムデザイン研究部門)
P1-5	東北大学インターネットスクールの実践と課題	三石大・岩崎信(東北大学大学院教育情報学研究所)

### 8月21日(土) 16:15 ~ 18:15 一般講演

---

B1 一般講演: 情報教育 第1会場(411講義室) 16:15 ~ 18:15



B1-1	実用教育支援カリキュラムの構築と実践	竹上健(高崎商科大学)・松下孝太郎(鎌倉女子大学)・竹本宜弘(高崎商科大学)
B1-2	キーボード操作による誤入力への傾向	小堀光芳(東海大学)・渡邊光太郎(明治学院大学)
B1-3	学校情報教育に関する諸課題の構造分析	中島亮一(佐賀大学大学院工学系研究科)・林敏浩・渡辺健次(佐賀大学理工学部)・角和博(佐賀大学文化教育学部)・林田行雄(佐賀大学理工学部)
B1-4	人間学部における情報リテラシー教育 教育効果向上への取り組みと課題	宮川祐一(仁愛大学)・田中洋一(仁愛女子短期大学)
B1-5	情報技術教育のための学習教材およびツールの開発	高橋参吉(千里金蘭大学)・下倉雅行(大阪府立工業高等専門学校)
B1-6	情報教育の基礎となる学力の整理とSemantic Web技術に基づく教師支援	笠井俊信・山口晴久(岡山大学教育学部)・永野和男(聖心女子大学)・溝口理一郎(大阪大学産業科学研究科)
B1-7	プレゼンテーションの同時同期相互評価値を用いた指導項目の検討	大倉孝昭(大谷女子大学教育福祉学部)・北村光一(彦根工業高校)・岩間徹(平安女学院高校)・東野勝治(平安女学院大学現代文化学部)
B1-8	文科系大学における情報教育の現状と問題点	立田ルミ(獨協大学)

## B2 一般講演: e-ラーニング1

第2会場(412講義室) 16:15 ~ 18:15

座長 磯本征雄(岐阜聖徳学園大学)・野崎浩成(愛知教育大学)

B2-1	Flash MX を用いたストーリー性のある漢字の成り立ち学習	宮副美希(佐賀大学大学院教育学研究科)・角和博(佐賀大学)
B2-2	Flash MXを用いた小学校教材の開発 - 漢字学習教材の開発と授業実践 -	濱尾潤(佐賀大学大学院教育学研究科)・角和博(佐賀大学)
B2-3	ハンディキャップを持った生徒のための漢字学習教材の開発	高木宏美・野崎浩成・江島徹郎・梅田恭子・平田賢一(愛知教育大学教育学部)
B2-4	部品統合による動的コンテンツ制作支援システムの開発	竹林信哉・納富一宏・田中宏和(神奈川工科大学情報学部)
B2-5	教室収録コンテンツとスタジオ収録コンテンツの比較 - 早稲田大学人間科学部eスクールの事例 -	西村昭治・浅田匡・向後千春・菊池英明・金群・松居辰則・野嶋栄一郎(早稲田大学人間科学部)
B2-6	物理実験におけるe-Learning用ビデオコンテンツの開発と実践	大島直樹(山口大学工学部)・室谷心(徳山大学)・増山和子(山口大学)・亀田孝嗣(山口大学工学部)・木下勝之・藤沢健太・浜本義彦(山口大学工学部)
B2-7	e-Learning向けマルチメディア教材制作支援に関する一考察	竹内俊彦(青山学院大学理工学部経営システム工学科)

## B3 一般講演: プログラミング教育1

第3会場(413講義室) 16:15 ~ 18:15

座長 植野雅之(大阪電気通信大学)・宮地功(岡山理科大学)

B3-1	JavaSWF2を用いたWeb上でのプログラミング教育支援環境	久保侯明(香川大学大学院工学研究科)・香川考司・垂水浩幸(香川大学工学部)
B3-2	掲示板機能を持つ SVG を用いたプログラミング学習システム	高井健一(香川大学大学院工学研究科)・香川考司・垂水浩幸(香川大学工学部)
B3-3	専攻分野を考慮したGUIプログラミング演習の実践	年森敦子(鎌倉女子大学)
B3-4	WBTを活用した形成的評価	生田目康子(広島国際大学社会環境科学部情報通信学科)
B3-5	Webを使った授業支援システムの作成と使用事例	山本芳人(東京理科大学理学部)
B3-6	プログラミング演習における進捗状況表示システム	安留誠吾・内藤広志(大阪工業大学情報科学部)
B3-7	ゲームデザイン教育のためのオーサリング環境	植野雅之(大阪電気通信大学)・蘆田昇(福井工業高等専門学校)
B3-8	キャラクタの制御を目的としたオブジェクト3次元LOGOの開発	西木毅・対馬勝英(大阪電気通信大学)

## B4 一般講演: インタネット応用1

第4会場(311講義室) 16:15 ~ 18:15

座長 三石大(東北大学大学院)・香山瑞恵(専修大学)

B4-1	公開型Web教材データベースにおける情報管理エージェントの開発	佐藤大樹・石川孝(日本工業大学)
B4-2	Web学習支援システムの開発による衛星画像の教育利用	浅井文男(奈良工業高等専門学校)

B4-3	アンケートによるWeb型自発学習促進クラス授業支援システムCEASの評価	小山和倫・辻昌之(関西大学大学院工学研究科)・植木泰博(関西大学先端科学技術推進機構)・荒川雅裕・冬木正彦(関西大学工学部)
B4-4	IT実技を学ぶ生涯学習者のための自己学習支援システムの開発	野口光孝(道都大学経営学部)
B4-5	個別コンテンツ用辞書を用いた漢字かな自動変換システムの開発とNICERでの適用	清水康敬((独)メディア教育開発センター)・岩田裕美・榎本聡(国立教育政策研究所)
B4-6	実世界での学習活動と連携するe-Learning環境	香山瑞恵・奈良久美子(専修大学ネットワーク情報学部)
B4-7	複数分野横断型学習システム「ポケット博物館」の提案	阿部直之・樋口祐紀・三石大(東北大学大学院教育情報学教育部)
B4-8	自己学習支援システムユニット制に関する実践報告-2001年度～2003年度に行った実践結果より-	宇治典貞・山本恒・植村唯邦・堀田博史・垣東弘一・小田桐良一・吉崎弘一(園田学園女子大学)

---

B5 一般講演: 教育方法・評価1 第5会場(312講義室) 16:15～18:15  
座長 米澤宣義(工学院大学)・横山宏(大阪電気通信大学)

---

B5-1	交差判定簡略化レイトレーシング技法を取り入れた幾何学授業について	郡山彬・ 峯崎俊哉(東海大学理学部)・尾崎克久(早稲田大学理工学研究科)
B5-2	医療系短期大学での通年化によるコンピュータリテラシ	知念正剛(福岡医療短期大学歯科衛生学科)
B5-3	形式的テストにおけるフィードバックを円滑にするための多肢選択問題の実施方式	田畑忍(三重大学大学院工学研究科)・森田直樹(東京工業大学大学院社会理工学研究科)・北英彦・高瀬治彦・林照峯(三重大学大学院工学研究科)・下村勉(三重大学教育学部)
B5-4	3step相互評価の学習効果	布施泉・岡部成玄(北海道大学情報基盤センター)
B5-5	教職課程の受講生における教材構造の把握について	横山宏(大阪電気通信大学総合情報学部)・飯田慈子(tami情報教育研究所)・石桁正士(大阪電気通信大学総合情報学部)
B5-6	理解度評価法	新藤康正・米澤宣義(工学院大学)
B5-7	インストラクター養成を目指した情報教育指導法のカリキュラム	垣東弘一(園田学園女子大学)

---

B6 一般講演: 生体・知覚情報 第6会場(321講義室) 16:15～18:15  
座長 田中一基(近畿大学)・富永浩之(香川大学)

---

B6-1	筆触を感じる書き方学習システム—誘導運筆による学習—	河野正博・富永浩之・山崎敏範(香川大学工学部)
B6-2	ビデオタブレット—カラーマーカーを利用する手書き筆跡のオンライン抽出—	守屋純・富永浩之・山崎敏範(香川大学工学部)
B6-3	X線画像撮影シミュレータの開発コンセプトと概要	御厨透・田中一基・黒瀬能幸(近畿大学工学部)
B6-4	共有仮想空間を用いたコンデンサの原理学習システムの試作	小川達也・森大佑・原田哲也(東京理科大学基礎工学部電子応用工学)
B6-5	知覚に関する情報処理環境の変化と意識	加藤あけみ(静岡福祉大学社会福祉学部)・金山茂雄(拓殖大学商学部・経営経理研究所・言語文化研究所)
B6-6	キーボード高速入力に関する解析	長文彦・対馬勝英(大阪電気通信大学大学院)

---

B7 一般講演: 教育実践システム1 第7会場(322講義室) 16:15～18:15  
座長 安田孝美(名古屋大学)・妻鳥貴彦(高知工科大学)

---

B7-1	研究・教育用パソコンを遠隔操作で同一環境維持するためのシステム構築	梶田定子・田春子(名古屋市立大学)
B7-2	教育用計算機シミュレータ(CP-804)の開発 - 結線論理機能について -	土山牧夫(玉川大学工学部)
B7-3	社会人学生への対応を意識した社会科学系学部夜間主コース情報処理教育	柳原佐智子(富山大学経済学部)・上木佐季子(富山大学総合情報基盤センター)
B7-4	中高齢者向けパソコン操作支援のためのWebブラウザ統合型入力インターフェースの開発	鈴木茂樹(中京大学大学院情報科学研究科)・遠藤守・宮崎慎也・山田雅之(中京大学情報科学部)・安田孝美・横井茂樹(名古屋大学大学院情報科学研究科)
B7-5	機械工学実習科目におけるマルチメディアコンテンツ利用の学習効果	佐藤智明(神奈川工科大学工学部)・坂井滋和(早稲田大学大学院国際情報通信研究科)・小口幸成(神奈川工科大学工学部)
B7-6	リアルタイム性を重視した学生の授業評価法の試み	藤田裕子・新谷公朗(常磐会短期大学)・田端矢一郎(常磐会学園大学)

B7-7	小学校におけるクラス単位でのLAN管理支援システム	徳田哲郎・杉田悠・妻鳥貴彦・清水明宏(高知工科大学工学部情報システム工学科)
B7-8	発表学習支援システムの構築・発表資料の再利用性の促進	上砂士朗・大澤有紀・妻鳥貴彦・清水明宏(高知工科大学工学部情報システム工学科)
B8	一般講演: 学習コンテンツ	第8会場(433講義室) 16:15~18:15 座長 梅田恭子(愛知教育大学)・岩根典之(広島市立大学)

B8-1	教材知識の再利用に関する検討	岩根典之・松原行宏・中村学(広島市立大学情報科学部)
B8-2	高臨場感ディスプレイ環境における教育用VRコンテンツとその評価	生井仁((株)日立製作所システム開発研究所)・守屋俊夫((株)日立製作所基礎研究所)・及川道雄((株)日立製作所システム開発研究所)
B8-3	学習者による評価情報を利用した学習コンテンツの検索支援	三本浩之・林雄介・池田満(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科)・妻鳥貴彦(高知工科大学情報システム工学科)
B8-4	小学生のための情報モラル教材の開発について	村田育也(北海道教育大学教育学部旭川校)
B8-5	マルチメディア技術を利用した音楽教育教材の開発	荻原尚・木川裕(武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部)
B8-6	読み聞かせ, プレゼンテーション教育のためのデジタル紙芝居の活用	荻原尚・木川裕(武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部)・田中利則(武蔵野短期大学幼児教育学科)
B8-7	Web上の「心理学」復習問題に対する学生の評価	加藤良子・大島直廣(中央学院大学)
B8-8	自閉症児・者を対象としたデジタルコンテンツオーサリングシステムの開発	小川修史(和歌山大学大学院システム工学研究科)・松田憲幸・三浦浩一・瀧寛和(和歌山大学システム工学部)・安部憲広(九州工業大学情報工学部)・堀聡(ものづくり大学)

8月22日(日) 9:30~11:30 企画セッション・一般講演

TD	企画セッションD:インターネット新技術による学習環境の展開	第1会場(411講義室) 9:30~11:30 オーガナイザ 米澤宣義(工学院大学)・佐々木整(拓殖大学)
----	-------------------------------	--

TD-1	ICタグとモブログを利用した街角ガイドシステムの開発	黒田卓・山西潤一(富山大学教育学部)・柵富雄(インターネット市民塾)
TD-2	非同期型CSCLシステムKNITSによるオンライン意見交換と相互評価の試み	森尾博昭(東京大学人文社会系研究科)・畦地真太郎(朝日大学経営学部)・三浦麻子(神戸学院大学人文学部)
TD-3	Pi_book—博物館での体験を高めるツールのデザイン	楠房子・山口尚子(多摩美術大学デザイン学科)・矢谷浩司・杉本雅則(東京大学大学院新領域創成科学研究科)
TD-4	言語運用に基づく英語教育教材とその提供Webサイト開発	新井雅之・渡辺亜美・佐野洋(東京外国語大学外国語学部)
TD-5	ジョイント・アテンションを利用した遠隔地協調活動支援システムの開発	西端律子(大阪大学大学院人間科学研究科)・伊藤公紘((財)コンピュータ教育開発センター)・菅井勝雄(大阪大学大学院人間科学研究科)
TD-6	CMFを利用したリアルタイムアンケート集計ツール:Liveask	香山瑞恵(専修大学ネットワーク情報学部)・曾田正彦(埼玉県立所沢西高等学校)・岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
TD-7	ユビキタス環境を模した2つの遠隔教育実践	畦地真太郎(朝日大学経営学部)・森尾博昭(東京大学文学部)・崔銀姬(北海道東海大学国際文化学部)・藤原伸彦(鳴門教育大学学校教育実践センター)・三浦麻子(神戸学院大学人文学部)

TE	企画セッションE:高等教育におけるICT利用システム	第2会場(412講義室) 9:30~11:30 オーガナイザ 黒瀬能幸(近畿大学)・渡辺成良(電気通信大学)
----	----------------------------	---

TE-1	講義とe-ラーニングのブレンディングによる教育の実践	宮地功・姚華平(岡山理科大学)・仲田和弘・吉田幸二(倉敷芸術科学大学)
TE-2	携帯ユビキタス環境における授業運営管理システム	樋川和伸・岡田政則(金沢学院大学基礎教育機構)
TE-3	集合教育支援の視点からのe-Learningの機能比較とCEASの特徴	冬木正彦(関西大学工学部)・小山和倫(関西大学大学院工学研究科)・植木泰博(関西大学先端科学技術推進機構)・荒川雅裕(関西大学工学部)

TE-4	信州大学における全学e-Learning化への取り組み	山本洋雄(信州大学高等教育システムセンター)・國宗永佳(信州大学大学院工学系研究科)・辻靖彦(信州大学高等教育システムセンター)・館秀典(東京工業大学大学院社会理工学研究科)・堀井謙一(信州大学高等教育システムセンター)
TE-5	法学教育における実務技能教育を支援するシステムを用いた授業の実践	金子大輔・菅原郁夫(名古屋大学大学院法学研究科)
TE-6	大学教養教育及び生涯学習におけるeラーニングの開発と実践	角和博・穂屋下茂・大谷誠・近藤弘樹・梅崎卓哉・江原由裕(佐賀大学)
TE-7	着席位置の識別機能を持つ携帯電話を用いたレスポンス・アナライザ	永岡慶三(早稲田大学人間科学部)・泉多美宏・遠藤和巳(パナソニック・モバイル・コミュニケーションズ)・久保田了司(AVCC/メディアリンク)
TE-8	単位化されたe-Learning授業で学習継続させるシステム設計とカリキュラムの配慮	堀田博史・山本恒・小田桐良一・宇治典貞・吉崎弘一(園田学園女子大学情報教育センター)

---

TF 企画セッションF:情報科教育法の実践と評価 第3会場(413講義室) 9:30~11:30  
オーガナイザ 松永公廣(摂南大学)・西野和典(九州工業大学)

---

TF-1	情報科教育法受講者における教科内容の理解状況	松永公廣(摂南大学)
TF-2	情報科教育法の教育実践に関する報告	河村一樹(東京国際大学)
TF-3	普通科目「情報」教科書における「実習」関連記述の比較---教育実習指導の視点から---	築雅之・竹本宜弘(高崎商科大学流通情報学部)
TF-4	情報科教育法における教材作成と教育現場での活用	西野和典(九州工業大学)・関本正則(大阪府立生野高等学校)・高橋参吉(千里金蘭大学)・大倉孝昭(大谷女子大学)
TF-5	普通教科「情報」のための公開型Web教材情報データベースの提案	石川孝(日本工業大学情報工学科)
TF-6	情報科教育法における高大連携による遠隔TAの試み	鷹岡亮・草野紘平(山口大学教育学部)・渡辺芳雅(誠英高等学校)・福田隆真(山口大学教育学部)

---

C1 一般講演:コラボレーション 第4会場(311講義室) 9:30~11:30  
座長 金西計英(徳島大学)・関一也(電気通信大学大学院)

---

C1-1	LEGO Mindstormsを用いた目標達成型の問題解決学習支援システムの提案	大西洋平・富永浩之(香川大学工学部)
C1-2	Web記述言語を搭載した多機能CMS "PowerCampus" の開発と運用	川場隆(活水女子大学)
C1-3	次世代情報携帯端末の教育利用	三好勉(玉川学園CHAATNetセンター)・清水英典(玉川大学学術研究所)・多賀譲治(玉川学園CHAATNetセンター)
C1-4	非同期仮想教室内の半同期学習者個々の学習文脈に基づく同期化支援	片山雅彦(徳島大学工学部)・松浦健二・金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター)・仁木啓司・矢野米雄(徳島大学工学部)
C1-5	領域知識に基づく議論支援システムの開発	小谷哲郎・関一也・岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
C1-6	Webの教材化を指向したWBLシステムにおけるリフレクション支援	熊田充・中村嘉宏・光原弘幸(徳島大学工学部)・金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター)・矢野米雄(徳島大学工学部)
C1-7	産学連携による実践的教育の実証実験からみた企業研修の考察	原潔・宮脇亨・萩谷有紀(日本ユニシス・ソフトウェア(株))

---

C2 一般講演:知的学習環境2 第5会場(312講義室) 9:30~11:30  
座長 小西達裕(静岡大学)・長谷川忍(北陸先端科学技術大学院大学)

---

C2-1	次元分けとサブドリル構造を用いた概念学習ドリルシエルの開発	山本雅之(東京工業大学大学院社会理工学研究科)・藤原康宏・鈴木克明(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)・赤堀侃司(東京工業大学大学院社会理工学研究科)
C2-2	メタデータとオントロジを用いたWeb教材の系列化に関する研究	長谷川仁美・関一也・岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
C2-3	問題統合レベルでの作問学習支援環境の設計・開発	横山琢郎(九州工業大学大学院)・平嶋宗(広島大学大学院)・岡本真彦(大阪府立大学)・竹内章(九州工業大学大学院)
C2-4	未来の専門家庭教育の教育システムの検討 - プロフェッショナル社会に向けた教育環境課題の整理 -	三上和敬(三菱電機電力・社会システム事業所開発部)
C2-5	ハイパー空間における主体的学習のための知識サマリ作成支援	長谷川忍(北陸先端科学技術大学院大学情報科学センター)・柏原昭博(電気通信大学)

C2-6	GPS情報と地図情報に基づく安心・安全なオリエンテーリングの学習支援の検討	白井正博(静岡大学大学院情報学研究科)・杉山岳弘(静岡大学情報学部)
C2-7	教育用ビジネスゲームにおける意思決定の総合評価を求める方法の研究(1)	福田真規夫(大阪国際大学)・矢鳴虎夫(東亜大学)
C2-8	問題解決学習を支援する学習支援環境の構成法	三原栄輔・長谷川啓行・金子浩史・嶋原邦夫・長谷川健治・山地典顕・掛川淳一・藤井雅弘・伊丹誠・伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部電子応用工学科)

---

C3 一般講演:e-ラーニング2 第6会場(321講義室) 9:30~11:30  
座長 高島秀之(文教大学)・佐野洋(東京外国語大学)

---

C3-1	100人規模を対象としたe-Learningを実現するシステムの機能について整理	教師側の機能	伊藤剛和(奈良教育大学)・原克彦(目白大学)
C3-2	オープンソースコミュニティサイト「CEAS Community Page」の開発とその評価		安田貴昇・浅井裕二・久木田圭介(関西大学大学院工学研究科)・植木泰博(関西大学先端科学技術推進機構)・冬木正彦・荒川雅裕(関西大学工学部)
C3-3	リメディアル教育を意識したeラーニング授業設計-数学における実践		中平勝子・福村好美(長岡技術科学大学eラーニング研究実践センター)・安藤雅洋(長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンター)・鈴木泉(長岡技術科学大学経営情報系)
C3-4	e-Learning教材の学習進捗状況に基づいた提示範囲制御		國宗永佳(信州大学大学院工学系研究科)・新村正明(信州大学工学部)・和崎克己・不破泰(信州大学大学院工学系研究科)・師玉康成・中村八束(信州大学工学部)
C3-5	講義・演習複合型情報リテラシーとeラーニングシステム		望月源・林俊成・佐野洋(東京外国語大学外国語学部)
C3-6	デジタルアーカイブ化へ向けて動画コンテンツ制作・配信の実証実験		高島秀之(文教大学情報学部)
C3-7	学習コミュニティ「e-教室」における投稿記事の特性とフォロー数との関連性— 問題(根記事)の特性とフォロー数の関係 —		川本佳代・古賀佑輔(広島市立大学大学院情報科学研究科)・新井紀子(国立情報学研究所情報学基礎研究系)
C3-8	通常教室講義の予復習に対するe-Learning導入の試み		北詰恵一(関西大学工学部)

---

C4 一般講演:語学学習2 第7会場(322講義室) 9:30~11:30  
座長 黒田勉(香川大学)・越智洋司(近畿大学)

---

C4-1	操作式解答によるマルチメディア試験システム DrilLs-M・ペンタブレットを用いた字形を中心とする漢字学習 -		衣笠裕(香川大学工学部)・山下直子(香川大学教育学部)・富永浩之・山崎敏範(香川大学工学部)
C4-2	児童向け指文字学習ソフトのGUI開発とその評価		生田目美紀(筑波技術短期大学)・原田泰・楠房子(多摩美術大学)・寺野隆雄(筑波大学大学院)・稲垣成哲(神戸大学)
C4-3	学習ニーズと言語的差異に着目したタイピング学習システムの開発		越智洋司(近畿大学理工学部)・脇田里子(同志社大学留学生別科)・矢野米雄(徳島大学工学部)
C4-4	小・中学校と大学の連携による協調学習の可能性 - 英語教育における連携教育実験と教授法に関する一考察 -		西堀ゆり(北海道大学・情報基盤センター(メディア教育部門))
C4-5	語句用法の知識定着のための復習契機を気付かせるフレームワークの提案		三好康夫(徳島大学工学部)・金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター)・岡本竜(高知大学理学部)・越智洋司(近畿大学理工学部)・矢野米雄(徳島大学工学部)
C4-6	円滑なコミュニケーション術の獲得を目的としたマルチモーダル知識コンテンツによる英語学習		桐山伸也(静岡大学情報学部)・木寺敦則(静岡大学大学院情報学研究科)・堀内裕晃・竹林洋一(静岡大学情報学部)

---

C5 一般講演:教育実践・評価 第8会場(433講義室) 9:30~11:30  
座長 鈴木克明(岩手県立大学)・西野和典(九州工業大学)

---

C5-1	タッチタイプ達成のための器具とタイプ練習ソフトの検討		梶木克則・榊井猛(甲子園大学現代経営学部)
C5-2	大学における自発による学習活動の評価の実践		松田憲幸・藤垣元治(和歌山大学システム工学部)・尾久土正己(和歌山大学学生自主創造科学センター)・森本吉春(和歌山大学システム工学部)
C5-3	高等専門学校における情報基礎教育の実践		下倉雅行・金田忠裕(大阪府立工業高等専門学校)・西本実苗(関西学院大学文学研究科)・高橋参吉(千里金蘭大学)

- C5-4 同期的な遠隔授業における学習者の主観的評価の基礎的研究 浅羽修丈(神戸大学大学院総合人間科学研究科)・西野和典(九州工業大学情報工学部)・大月一弘(神戸大学国際文化学部)・石桁正士(大阪電気通信大学総合情報学部)
- C5-5 共有マルチメディア教材の対話的提示が可能な教授システムとこれによる授業実践の評価 樋口祐紀(東北大学大学院教育情報学教育部・研究部)・三石大(東北大学大学院教育情報学教育部・研究部)・郷健太郎(山梨大学総合情報処理センター)・鈴木克明(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)・新谷公朗(常磐会短期大学・幼児教育科)・笹田慶二郎・白井由希子・上田真梨・金田重郎(同志社大学工学部・工学研究科)
- C5-6 子どもを観察する視点をナレッジとして備えた保育記録作成支援システム「e-子育てNETシステム」の提案
- C5-7 中学校国語科における情報機器活用の実践 - コンピュータを用いた文書作成 - 高橋一夫(同志社大学大学院総合政策科学研究科)・新谷公朗(常磐会短期大学幼児教育科)・金田重郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科)
- C5-8 情報セキュリティと個人情報保護の現状と課題について 辻達之(九州工業大学)・渋井二三男(城西大学)

8月22日(日) 13:00 ~ 15:00 一般講演

D1 英語セッション: 第1会場(411講義室) 13:00 ~ 15:00  
座長 西堀ゆり(北海道大学)

- D1-1 Group Modeling for Collaborative Activity-Status by Pedagogical Agents Toshio Okamoto (University of Electro-Communications, Graduate School of Information Systems)・ Mizue Kayama (Senshu University, School of Network and Information)
- D1-2 Cross-Cultural Learning Experiments with High Quality Video Conference System over Transpacific IP Network N. Nishinaga (NICT)・Y. Nishihori (Hokkaido University)・K. Nagaoka (Waseda University)・S. Okabe・Y. Yamamoto (Hokkaido University)・K. Tanaka (NICT)
- D1-3 Project Based Learning in a blended Basic Accounting course Oivind Horn (CEO, Interlect Corp.)
- D1-4 Study of the Causal Relationships between the Structure of VOD Listening Comprehension Course and Individual Differences Jin Chen・Toshio Okamoto・Kazuya Seki (The Graduate school of Information Systems, the University of Electro-Communications)

D2 一般講演:認知・メタ認知 第2会場(412講義室) 13:00 ~ 15:00  
座長 曾我真人(和歌山大学)・三浦麻子(神戸学院大学)

- D2-1 屋外型ハイパーミラーによる自然観察授業 森川治(独立行政法人産業技術総合研究所)・前迫孝憲(大阪大学大学院人間科学研究科)・吉富友恭(東京学芸大学)・今井亜湖(早稲田大学)・埴岡靖司(岐阜県山県市富岡小)
- D2-2 e-LearningシステムCEASを利用する自発学習促進スパイラル教育法 荒川雅裕・冬木正彦(関西大学工学部)・植木泰博(関西大学先端科学技術推進機構)
- D2-3 検索エンジンを利用したWWWからの情報検索における領域知識の影響 藤原伸彦(鳴門教育大学学校教育実践センター)・三浦麻子(神戸学院大学人文学部)・山下耕二(情報通信研究機構けいはんな情報通信融合研究センター)
- D2-4 ガイドブックをベースにしたWeb-Basedマニュアルの改善案の提案 広瀬啓雄(諏訪東京理科大学経営情報学部)・難波和明(東京理科大学経営工学部)
- D2-5 問題解決のメタ認知能力獲得システムの開発 高橋紘平・大塚哲也(上智大学大学院理工学研究科)・田村恭久(上智大学理工学部機械工学科)
- D2-6 XMLによるオブジェクトモデリングを用いた教材の知識表現 矢島彰(大阪国際大学)・江見圭司(金沢工業大学)・田中規久雄(大阪大学)・中條道雄(関西学院大学)・石川高行(大阪国際大学)
- D2-7 認識・行動・成果物からみたスキル学習の分類と診断について 曾我真人・松田憲幸・高木佐恵子・瀧寛和・吉本富士市(和歌山大学システム工学部)

D3 一般講演:プログラミング教育2 第3会場(413講義室) 13:00 ~ 15:00  
座長 鷹岡亮(山口大学)・原田康徳(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

- D3-1 DrilLs-Fのマルチメディア出題機能によるプログラミング問題とアルゴリズム問題への適用 藤崎博志・衣笠裕・富永浩之・山崎敏範(香川大学工学部)
- D3-2 プログラミング初学者向けインタープリタの開発と利用 小菅貴彦(日本電子専門学校コンピュータネットワーク研究科)・大川晃一(日本電子専門学校情報システム開発科)
- D3-3 新入生アンケートによる情報スキルの向上に関する一考察 宮本勉・大橋けい子・渡部綾子(嘉悦大学)

D3-4	プログラミング教育における設計仕様書作成の試み	中西通雄・安留誠吾(大阪工業大学情報科学部)
D3-5	Viscuit: 簡単にプログラムが学べるビジュアル言語(実践と分析)	原田康徳(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)・宮坂春奈・楠房子(多摩美術大学)
D3-6	演習進捗管理システムを使用したプログラミング演習に関する研究	外川明子・須藤貴光・小菅貴彦(日本電子専門学校コンピュータネットワーク研究科)
D3-7	自然言語を利用したプログラミング学習教材の開発と利用	大川晃一(日本電子専門学校情報システム開発科)・小菅貴彦(日本電子専門学校コンピュータネットワーク研究科)
D3-8	実践的なプログラミング演習問題集の作成技術と管理システムの開発	藤田充典(福岡県産業・科学技術振興財団福岡知的クラスター研究所)・権藤克彦(東京工業大学大学院情報理工学研究科)・落水浩一郎(北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科)

---

D4 一般講演:インターネット応用2 第4会場(311講義室) 13:00 ~ 15:00  
座長 柏原昭博(電気通信大学)・高田伸彦(金沢学院大学)

---

D4-1	Webデジタルコミック観賞システムにおける動的対応向上の改善	高田伸彦(金沢学院大学美術文化学部)
D4-2	エンドユーザー向けWeb記述言語の開発	川場隆(活水女子大学)
D4-3	CAMLLシステムを用いた自学自習用教材開発	横田壽(広島工業大学環境学部)・大田一希・向井理恵(広島工業大学地域環境研究科)
D4-4	学校Webサイトの運営・維持におけるワークフローの類型化の試み	森下誠太(静岡大学大学院情報学研究科)・堀田龍也(静岡大学情報学部)・石塚丈晴(静岡大学工学部)・清水悦幸(株式会社インフォサイン)・笹田森・永井達雄(株式会社内田洋行)
D4-5	小学校に適したウェブメールシステムの検討	妻鳥貴彦・明神巴子・清水明宏(高知工科大学情報システム工学科)
D4-6	ポストイットとITを活用したコンテンツ収集の実践と学習教材制作支援	荒井雄一(静岡大学大学院情報学研究科)・杉山岳弘(静岡大学情報学部)
D4-7	マルチ・チャンネルなコミュニケーション場における知識洗練ワークベンチの設計	柏原昭博(電気通信大学)・岡本竜(高知大学)

---

D5 一般講演:教育方法・評価2 第5会場(312講義室) 13:00 ~ 15:00  
座長 鈴木雅人(東京工業高等専門学校)・真嶋由貴恵(大阪府立看護大学)

---

D5-1	授業方法と学習成績-Cプログラミング授業において-	佐野繭美・橋本はる美(摂南大学)・高橋参吉(千里金蘭大学)・松永公廣(摂南大学)
D5-2	看護基礎教育における問題解決型思考の育成を指向したe-learning向け教材	真嶋由貴恵(大阪府立看護大学)・吉嶺敏子・柴田弘子・生嶋美春・堀川淳子・原賀美紀・石原逸子(産業医科大学産業保健学部)・佐々木良介((株)神鋼ヒューマン・クリエイト)・宗陽一郎((株)神戸製鋼所生産システム研究所情報通信研究室)
D5-3	効率的な検索機能を備えたバーチャル・コンピュータ相談室の提案	苅屋史・岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)・宮下健輔(京都女子大学現代社会学部)
D5-4	芸術・技能分野のe-learningにおける感覚連想・共有支援に関する一考察 - ペン字・書道の遠隔実時間添削を事例として -	矢野健二・堀田順平・小林直彦(東京高専専攻科機械情報システム工学専攻)・谷沢智史(電気通信大学情報システム学研究科)・山下静雨(ペン習字研修センター)・吉田幸二(倉敷芸術科学大学産業科学技術学部)・鈴木雅人・市村洋(東京工業高等専門学校情報工学科)
D5-5	テスト中に解説を提示する形式的テストの出題方式に関する一考察	森田直樹(東京工業大学社会理工学研究科)・田畑忍・北英彦・林照峯(三重大学大学院工学研究科)・赤堀侃司(東京工業大学社会理工学研究科)
D5-6	国際eラーニングにおけるドロップアウトモデル	松田岳士(青山学院大学国際政治経済学研究科)・本名信行(青山学院大学国際政治経済学部)

---

D6 一般講演:e-ラーニング3 第6会場(321講義室) 13:00 ~ 15:00  
座長 西端律子(大阪大学)・藤井諭(松江工業高等専門学校)

---

D6-1	対話的な授業支援のための一問一答式クイズAQuAs - 授業場面の状況把握と多様な試験形態の適用 -	高志修・富永浩之・山崎敏範(香川大学工学部)
D6-2	公共職業訓練のためのe-learning教材作成支援システム - インストラクショナルデザイン手法の利用 -	藤田紀勝・高橋卓士(四国職業能力開発大学校)・新井吾朗(職業能力開発総合大学校)・山崎敏範(香川大学工学部)
D6-3	非同期型e-Learningを支援するコミュニケーション・システムの開発	中村直人・足立隆人(松江工業高等専門学校)・岡田英孝・坪内昭憲(アイム(株))・藤井諭(松江工業高等専門学校)

D6-4	eラーニングコンテンツ / サービスの品質に関するニーズ	松本馨・平田謙次(学校法人産業能率大学総合研究所)
D6-5	視覚障害者のe-Learning	村上佳久(筑波技術短期大学障害者高等教育センター障害者基礎教育部門)
D6-6	ノート整理を促すe-Learningコンテンツの提案とその実践	岡本敏雄・塚原渉・関一也・長谷川仁美・上田広明(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
D6-7	Web-Based Trainingにおける教材内容への学習者の下線引きの影響	福永良浩・竹内章(九州工業大学情報工学部)・平嶋宗(広島大学大学院工学研究科)・国近秀信(九州工業大学情報工学部)
D6-8	eラーニングにおける個人指導と学習プロセス	岸田徹・近藤光長・小林雅彦(株式会社ネットラーニング)

---

D7 一般講演:教育実践システム2 第7会場(322講義室) 13:00 ~ 15:00  
座長 浮貝雅裕(千葉工業大学)・藤田紀勝(四国職業能力開発大)

---

D7-1	シラバスの可視化による履修支援システム	石川大地・森下誉子・妻鳥貴彦(高知工科大学工学部情報システム工学科)
D7-2	中高齢者向けメラーユーザビリティに基づいた誘導型Webメールシステムの開発	佐々木喜一郎(名古屋大学大学院情報科学研究科)・入部百合絵(名古屋大学大学院人間情報学研究科)・後藤昌人(名古屋大学大学院情報科学研究科)・遠藤守(中京大情報科学部)・安田孝美・横井茂樹(名古屋大学大学院情報科学研究科)
D7-3	中高齢者向け誘導型Webメールシステムのためのユーザビリティ設計	入部百合絵(名古屋大学大学院人間情報学研究科)・佐々木喜一郎・藤原真里(名古屋大学大学院情報科学研究科)・遠藤守(中京大学情報科学部)・安田孝美・横井茂樹(名古屋大学大学院情報科学研究科)
D7-4	住宅設計支援システムの構築	谷田一真・対馬勝英(大阪電気通信大学大学院)・木田豊(G K京都)
D7-5	ポリシーベースによる学習用ネットワーク自動生成に関する試み	中川泰宏・須田宇宙・浮貝雅裕・三井田惇郎(千葉工業大学情報科学部)
D7-6	ICタグを用いた生涯学習マラソン支援システムの構築とインテリジェント・ランナーズ・パーク構想について	吉田敦也(徳島大学大学開放実践センター)・葉田善章(メディア教育開発センター)
D7-7	「2005年の学校」に対応した校内ネットワークの設計方法のモデル化	高橋純(富山大学教育学部)・堀田龍也(静岡大学情報学部)・中川斉史(鳴門教育大学大学院)・竹内勉・山本和人(Sky株式会社)
D7-8	3次元CGアートツールG-LOGOにおけるCG制作支援コンテンツ	矢島裕之・西木毅・対馬勝英(大阪電気通信大学)

8月22日(日) 15:10 ~ 17:00 パネル討論会II

---

P2 パネル討論会II: 教科「情報」 - 初等教育から高等教育における先進的な実践事例に学ぶ - 611 講義室 15:00 ~ 17:00  
モデレータ 黒田卓(富山大学)

---

P2-1	教科「情報」 - 初等教育から高等教育における先進的な実践事例に学ぶ -	黒田卓(富山大学)
------	--------------------------------------	-----------

8月21日(土) ~ 22日(日) ポスター / デモセッション

---

PD ポスター / デモセッション: 第9会場(432講義室)

---

PD-1	シミュレーションをベースとした統計学学習支援システムの構築	小波秀雄(京都女子大学現代社会学部)
PD-2	アイテムバンク構築機能を持ったeラーニングプラットフォーム	秋山實(合資会社eラーニングサービス)
PD-3	物理実験におけるe-Learning用ビデオコンテンツの開発と実践	大島直樹(山口大学工学部)・室谷心(徳山大学)・増山和子(山口大学)・亀田孝嗣・木下勝之(山口大学工学部)・藤沢健太(山口大学理学部)・浜本義彦(山口大学工学部)
PD-4	描画法を用いた理科教育を支援する教育システムPolkaの開発	林敏浩(佐賀大学理工学部)・小牧啓介(宮崎市立大宮小学校)・中山迅(宮崎大学教育文化学部)



PD-5 問題統合レベルでの作問学習支援環境の授業での利用	横山琢郎(九州工業大学大学院)・平嶋宗(広島大学大学院)・岡本真彦(大阪府立大学)・竹内章(九州工業大学大学院)
PD-6 競合的情報共有環境を応用したWeb教材オーサリングシステムの試作	袁飛(徳島大学大学院)・光原弘幸・矢野米雄(徳島大学工学部)
PD-7 Web上での学習活動を再現・共有するWBLシステム	中村嘉宏・光原弘幸(徳島大学工学部)・金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター)・矢野米雄(徳島大学工学部)
PD-8 演習問題自動生成システムのための領域知識の構成について	松岡秀朗(徳島大学工学部)・金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター)・光原弘幸(徳島大学工学部)・松浦健二(徳島大学高度情報化基盤センター)・緒方広明・矢野米雄(徳島大学工学部)
PD-9 スケジュール管理を中心にした学会・イベント等の支援について	山根直之(徳島大学工学部)・金西計英・松浦健二(徳島大学高度情報化基盤センター)・光原弘幸・緒方広明・矢野米雄(徳島大学工学部)
PD-A 知的障害養護学校の集団学習におけるテレビ紙芝居の活用	西村健一・紅野真弓・荒井桂子(香川大学教育学部附属養護学校)
PD-B 入学前教育へのE-Learning/KNOPPIXの利用	崔英泰(埼玉工業大学情報工学科)・小松川浩(千歳科学技術大学光科学部)・渡部大志(埼玉工業大学工学部情報工学科)
PD-C 物理シミュレーション教育コンテンツ	井口万由美・新井康平(佐賀大学大学院工学系研究科知能情報システム学専攻)
PD-D e-learningにおける受講者の感情認識	新井康平・吉田洋(佐賀大学大学院工学系研究科知能情報システム学専攻)
PD-E 遠隔映像対話学習における低遅延時間通信網	前迫孝憲(大阪大学人間科学研究科)・森川治(産業技術総合研究所)・北山研一(大阪大学大学院工学研究科)

# 2004 年度第 3 回研究会 発表募集延長のご案内

テーマ：『学習モデルの再考と知的学習支援システム』

担当：研究会委員会  
小西達裕 / 伊藤紘二

本年度第 3 回研究会といたしまして、「学習モデルの再考と知的学習支援システム」をテーマに研究会を開催いたします。多くの方々にご参加いただけますようご案内申し上げます。

本学会ではこれまでも、学習をコミュニケーションと捉える立場から、言語や知識の取り扱いを取り入れた学習・教育支援システムの研究をテーマとする研究会を開催して参りました。その中で、学習というものをどう捉え、それをどのように教育システムのデザインに結び付けてゆくかという問題意識からの研究が、近年ますます活発になりつつあると感じております。そこで今回は、「学習モデルの再考と知的学習支援システム」と題し、この分野に関心をお持ちの方々に議論の場をご提供したいと考えております。具体的には、学習科学とその応用、学習におけるコミュニケーションモデル、マルチモーダルインタフェース、先端的知識処理・言語処理とその応用、e-learning と知的処理、などのテーマを想定しておりますが、むしろこれらの枠にとらわれず、さまざまな分野の方々にお集まりいただけることを願っております。

開催日：2004 年 9 月 17 日（金） 10:30～17:00

（研究会終了後、簡単な懇親会を企画しております。当日参加も可能ですが、事前に下記ご連絡先までお知らせいただければ幸いです。）

開催場所：静岡大学情報学部（静岡県浜松市 城北 3 - 5 - 1）

交通案内 静岡大学浜松城北キャンパス

<http://www.shizuoka.ac.jp/map/m-2.html>

発表申込締切：2004 年 8 月 16 日（月） 延長しました！！

原稿提出締切：2004 年 8 月 23 日（月）

発表申込方法：

以下を電子メールで幹事の小西（静岡大学：konishi@cs.inf.shizuoka.ac.jp）までお送りください。

- （1）発表タイトル、（2）著者名・所属（登壇者に）
- （3）発表概要（50 文字程度）、（4）連絡先住所、氏名、電話番号、メールアドレス

研究会プログラムは作成中です。以下の URL で公開いたしますのでご参照ください。

<http://risky.cs.inf.shizuoka.ac.jp/konishi/jsise/jsise0917.htm>

第 29 回全国大会でもアナウンスいたします。

参加の事前申し込みは不要です。聴講のみのご参加も歓迎します。

参加費：無料（研究報告書ご希望の方は 1,000 円）

お問い合わせ先・ご連絡先

研究会幹事 小西達裕

〒432-8011 静岡県浜松市城北 3 - 5 - 1

静岡大学情報学部 情報科学科

Tel. 053-478-1454 FAX 053-478-1499（共用）

E-mail: konishi@cs.inf.shizuoka.ac.jp

## 国際会議の案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡下さい。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

## 新着情報 3 件

WMTE 2005: Third IEEE International Workshop on Wireless and Mobile Technologies in Education

開催日程：2005 年 11 月 28-30 日

主催：IEEE Technical Committee on Learning Technology

論文応募締切：2005 年 6 月 1 日

開催地：徳島

CSSL 2005: Computer Supported Collaborative Learning

開催日程：2005 年 5 月 30-6 月 4 日

主催：International Society of the Learning Sciences 他

論文応募締切：2004 年 11 月 15 日

開催地：台湾台北

URL: <http://www.cssl2005.org/>

SW - EL'04 Session at ISWC: Applications of Semantic Web Technologies for E-learning

開催日：2004 年 11 月 8 日

開催地：広島（ISWC と同一会場）

論文応募締切：2004 年 7 月 27 日

URL：

<http://www.is.win.tue.nl/SW-EL04/swel-iswc.html>

## 再掲載情報 3 件

ISWC 2004: International Semantic Web Conference

開催日程：2004 年 11 月 7-11 日

主催：人工知能学会, The Semantic Web Science Association

開催地：広島(プリンスホテル)

ポスター応募締切：2004 年 7 月 19 日

URL: <http://iswc2004.semanticweb.org/>

WBE 2005: The 4th IASTED International Conference on WEB-BASED EDUCATION

開催日程：2005 年 2 月 21-23 日

主催：IASTED

開催地：Grindelwald, Switzerland

論文応募締切：2004 年 10 月 1 日

URL:

<http://www.iasted.org/conferences/2004/vi/ksce.htm>

SITE 2005: Society for Information Technology & Teacher Education

開催日程：2005 年 3 月 1-5 日

主催：AACE

開催地：Phoenix, Arizona, USA

論文応募締切：2004 年 10 月 18 日

URL: <http://site.aace.org/conf/>

国際会議案内文責 松田 憲幸 (和歌山大学)  
E-mail: [matsuda@sys.wakayama-u.ac.jp](mailto:matsuda@sys.wakayama-u.ac.jp)

# 新入会員の紹介

新入会員（敬称略）

JSiSE-A0402149	光井 将宇	近畿大学	正会員
JSiSE-A0402150	村上 佳久	筑波技術短期大学	正会員
JSiSE-A0402151	藤川 昌浩	(有) デジタル・マイスター	正会員
JSiSE-A0402152	木原 寛	富山大学	正会員
JSiSE-A0402153	小堺 光芳	東海大学	正会員
JSiSE-A0402154	渡邊 光太郎		正会員
JSiSE-A0402155	徳永 由美子	(学) 共立女子短期大学	正会員
JSiSE-A0402156	土田 賢省	東洋大学	正会員
JSiSE-A0402157	西本 実苗	関西学院大学	正会員
JSiSE-A0402158	岸田 徹	(株) ネットラーニング	正会員
JSiSE-A0402159	近藤 光長	(株) ネットラーニング	正会員
JSiSE-A0402160	山田 博文	豊橋技術科学大学	正会員
JSiSE-A0402161	関野 卓正	尼崎市立尼崎工業高等学校	正会員
JSiSE-A0402162	佐久間 潔	信州大学大学院	準会員
JSiSE-A0402163	鈴木 茂樹	中京大学大学院	準会員
JSiSE-A0402164	篠原 卓三	NTT ラーニングシステムズ(株)	正会員
JSiSE-A0402165	大島 直廣	中央学院大学	正会員
JSiSE-A0402166	山本 雅之	東京工業大学 社会理工学研究科	準会員
JSiSE-A0402167	村上 昌也	神戸市立六甲アイランド高校	正会員
JSiSE-A0402168	小川 達也	(学) 東京理科大学大学院	準会員
JSiSE-A0402169	符 儒徳	東京女学館大学	正会員
JSiSE-A0402170	住 政二郎	関西大学大学院	準会員
JSiSE-A0402171	矢島 裕之	大阪電気通信大学大学院	準会員
JSiSE-A0402172	足立 圭介	関西大学大学院	準会員
JSiSE-A0402173	横田 壽	広島工業大学	正会員
JSiSE-A0402174	加藤 宏	国立大学法人 筑波技術短期大学	正会員
JSiSE-A0402175	植木 泰博	ニュータイプシステムズ(株)	正会員
JSiSE-A0402176	楠 房子	多摩美術大学	正会員
JSiSE-A0402177	大西 洋平	香川大学	準会員
JSiSE-A0402178	花房 佑馬	香川大学	準会員
JSiSE-A0402179	藤崎 博志	香川大学	準会員
JSiSE-IA040059	川本 浩史	ネットワンシステムズ(株)	維持会員

2004 年度新入会員（2004 年 5 月 26 日～2004 年 7 月 21 日）

# 2004 年度第 1 回研究会の報告

テーマ：組織内教育における e-ラーニングの新しい展開 / 一般

担当：研究会委員会  
松居辰則 / 仲林 清

2004 年度の第 1 回研究会は、『組織内教育における e-ラーニングの新しい展開 / 一般』をテーマに、去る 2004 年 5 月 28 日(金)に青山学院総合研究所(東京都渋谷区)で開催しました。14 件の発表があり、懇親会も含めて大変な盛会となりました。参加者は約 120 名を数えました。

この研究会への参加者数は常連の参加者も含めて、毎年増加の一途をたどっています。大変喜ばしいことであると同時に、この分野への注目度の高さを感じています。

e ラーニングは単なる Web による教材配信の段階から、企業や大学で実践的に活用されるための複合的な教育研修メディアに変化しつつあります。今回の研究会では、このような流れに着目し、e ラーニングを組織内教育で活用するための、新しい取り組み事例や方法論についての研究発表を募りました。その結果、学習コンテンツ、ブレンディド学習、学習システムの設計方法論や実践事例、Human Resource Management, Knowledge Management, Job Aid など、e ラーニングの新しい分野との連携事例などに関する発表があり、多角的に議論を行うことができました。また、今回の発表は企業と高等教育、初等中等教育からの発表のバランスがとれており、ユニークなアイデア、先進的な実践等が披露されました。ここから産学の新しいコラボレーションが誕生するかもしれません。来年度も同じ時期に研究会を開催する予定です。この研究会は、急速に変化する e-learning や教育環境、それらを支える最新の技術に常に敏感に反応し、先進的かつ刺激的な内容の研究会を行う予定です。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後に、発表・参加いただき、活発な議論をしていただいた方々、ならびに、会場を提供して下さった青山学院大学総合研究所の皆様にお礼申し上げます。

.....

- ・開催日：2004 年 5 月 28 日
- ・場 所：青山学院大学

## 1. 教育システム工学サーベイ 2004

君島 浩(防衛庁)

教育システム工学に関する私の最近の見聞を紹介する。企業内教育の研究・実践に取り組んでいる人へ先端情報を提供する。また、このサーベイは初めて企業内教育に取り組む人にも参考になるだろう。紹介する話題は、豪州の文部科学訓練省の「国境なし教育の事業」報告書、トロントセンの e ラーニングセミナー、金沢工大の CBT 開発班、カナダのアルバータ大学の科目コンサルテーション、英国 IT 訓練研修所の教育者能力標準、マレーシアの教育工学活動、日本の ISD 取組組織、国際通信連合 ITU の訓練開発案内書などである。

## 2. 技能教育における e-Learning の活用とそのコンテンツ開発

・ミシン技能教育を例として

東 英男((株)ワコール)

日本の製造業の中でも特に縫製産業の復活を

図るには、日本と中国等の得意分野のすみ分けを考慮し、中国等では大量かつ低価格品を製造し日本では高付加価値品の製造に特化した体制を採るのも一つの方法と考える。その際日本では高度技能者の育成が、中国等では初心者の育成が課題となる。そこで筆者は各種計測装置を用いて高度技能を解明し、情報技術を用いて技能教育を効果的に行う方法と学習用コンテンツ開発の工夫を行った。本稿ではその概要と結果を述べる。

## 3. インストラクショナルデザイン技法 UNIKIDS による開発事例報告

堀内淑子, 田中信也, 樋口洋子, 日南 進  
(日本ユニシス・ラーニング(株))

ID 適用の効果を危ぶみ採用を迷っている方々へ、適用事例を報告することで、有効な適用法を示唆する。今回は主にツールを使い、ID を忠実に守ることによる効果を報告する。

## 4. 産学共同による授業設計の実践報告

・インストラクショナルデザイン適用授業の成果

橋本 諭(青山学院大学),堀内淑子(日本ユニシス・ラーニング(株)),  
齋藤 裕(早稲田大学),玉木欽也(青山学院大学)

企業内教育で従来から用いられているインタラクショナルデザインという手法を用いて産学協同にて高等教育の授業を作成した。その際、eラーニングにおけるプレイヤという視点を入れた上で実践を行うことにより、授業実施結果に向上が見られたと共に、高等教育と教育ベンダとの授業共同開発についてのノウハウを結集した。

#### 5. e-Learning から e-Education へ 早稲田大学人間科学部 e スクール: 我が国初の本格的ブロードバンド型大学通信教育課程

西村昭治(早稲田大学)

爆発的な ADSL の普及により、ブロードバンドで大学の授業を日本全国ばかりでなく全世界に展開することが可能となった。事実、早稲田大学人間科学部通信教育課程の在学学生はイギリス、アメリカ等の海外在住者が数名存在する。我が国初のブロードバンド主体の通信教育課程についてその開設趣旨、カリキュラム、システム等について概要を述べてる。まだ、1年間しか経過していないがアンケートを見る限りは当通信教育課程はおおむね成功したと言える。

#### 6. 物理学実験における e-ラーニング学習導入の取り組み

大島直樹(山口大学),室谷 心(徳山大学),増山和子,亀田孝嗣,木下勝之,倉井 聡,渡邊哲陽,樋口隆哉,岸本堅剛,内村俊二,篠原紀幸,浜本義彦(山口大学)

山口大学工学部では、全学科の1年生を対象にした共通教育のひとつの科目として物理学実験を開講している。筆者らは、物理学実験コンテンツの電子化と教育現場への導入の検討を行ってきた。物理学実験科目の実験指導書を電子化し、ならびに e-ラーニング用 WBT コンテンツの開発をおこなった結果について報告する。

#### 7. 学習進捗状況に基づいた e-Learning 教材表示制御システム

國宗永佳,新村正明,和崎克己,不破 泰,師玉康成,中村八束(信州大学)

我々は、受講者個々の学習進捗状況に応じて、e-Learning 教材の表示部分を制御するシステムを開発した。本システムを用いることにより、e-Learning を活用した講義において、順序立てた

学習を実現する事が可能となる。受講者の学習進捗状況は、教材の各単元に課されるレポート等の提出状況から得ることができる。表示の制御情報は HTML のコメント中に埋め込む形式であるため、既存の HTML で作成された教材への導入が容易である。本稿では別に試作中のレポート提出システムとの連携を含めた、本システムについての説明を行う。

#### 8. プロジェクト活動支援のための e-Learning システムの構築

江見圭司,仲 信幸,堀 稔,石居優一(金沢工業大学)

小規模な組織(5~15人),たとえば部署や研究室でプロジェクトをやりながら、学習も行うことを支援するシステムを構築した。研究室と実験室が離れていても、ウェブカメラで確認しながら実験したり議論したりできる。2画面を使用する。

#### 9. SCS 集中講義「eラーニングファンダメンタル」の評価と改善

鈴木克明,市川 尚,根本淳子(岩手県立大学)

eラーニング基礎理論としてのインタラクショナルデザインの内容整理と教材化を目的として、SCS 経由で集中講義「eラーニング基礎理論」を試行した。大学院レベルでの2単位科目を想定した15コマの内容を5日間で実施した。全国14会場で受講した129人のうち、最終課題に合格して修了証をあたえられた者は96人(修了率74%)であった。追跡調査において、提出者全員が本講義によって自分の職務遂行力が向上した分野があったと自己評価した。受講者が本講義からの収穫として取り上げた事柄としては、ID理論の基盤・全体像による実践の裏づけ、本講義の実施方法へのIDの応用に加え、ID者としてのキャリアパスの発見や主体的学習の重要性への気づきなどがあった。実施後半年を経過した時点でWebによる追跡調査を実施したところ、本論座が受講者の業務関連の行動変容に影響を与えていることがわかった。本講義の内容を修正し、2日間の対面研修を含むブレンディング型 eラーニングとして再設計して実施した概要を述べた。

#### 10. エンドユーザにも理解できるシステムの表し方

林田 照,飯倉道雄(日本工業大学)

「設言十が完了したので、確認してください」とSEからシステム設計書を渡され、内容をよく理解できないまま、打ち合わせも十分したので、

要求を反映しているだろう」と開発を承認したが、システム納入後に、要求が反映されていないことが判明して、その対応に苦労したエンドユーザも多いと思われる。エンドユーザがシステム設計書の内容を正確に理解する方法として、次の2つが考えられる。

エンドユーザが情報処理技術を習得する。

エンドユーザが理解できるようなシステム設計書をSEに要求する。

筆者らは、に対応するために、エンドユーザにも理解できるシステムの表し方について検討してきたので報告する。

11. 組織内人材開発のためのeラーニングカリキュラム実現に向けた学習支援に関する考察  
伊藤泰史((株)ビジネス・ブレイクスルー), 長田尚子(青山学院大学)

組織における人的資源の重要性が高まり、組織内教育のあり方に変化が生じている。企業の研修においては、業務遂行に必要な知識やスキルを研修として提供するだけでなく、プロフェッショナルとしていかなる環境においても成果を出せる人材を開発することが課題となっている。このような課題を背景に、eラーニングを活用した人材開発のためのカリキュラム体系の実践について報告する。実践を通じ、eラーニング環境においても学習支援方法の工夫により、知識やスキルの習得だけにはとどまらない人材開発が可能であるという方向性が示された。

12. 分析シナリオに注目したアイテム分析システムの提案

末永高志, 大内 学, 石打智美((株)NTT データ)

様々な観点での分析方法が存在するアイテム分析において、分析のシナリオを整理し実装することで、効率的かつ多面的な解釈が可能となるシステムの報告を行う。

13. 標準規格に準拠したオンラインテストシステム3

仲林 清, 中村明仁(NTT レゾナント(株)), 吉岡俊正(東京女子医科大学), 相良貴子, 加賀田俊(NTT レゾナント(株))

オンラインテストの標準規格に準拠したテストシステムを開発した。IMSによって扇発されたQT11.2規格に対応し、さらに各種の拡張を可能とするため、テスト処理を

「出題選択」、「表示」、「応答」、「集約」の4つの処理フェーズに分割し、各々のフェーズに対してプラグインモジュールを追加することによってカスタマイズが可能な構成とした。医師国家試験対応の模擬試験などに開発したシステムを適用し実用性を確認した。

14. 集合学習環境における携帯電話の有効利用に関する実証的考察

松居辰則(早稲田大学), 菅谷史昭((株)KDDI 研究所)

本研究の目的は、約6ヶ月間の実践を通して、高等教育機関における大人数集合学習環境での携帯電話(MP)の役割に関する考察を行い、教室講義、印刷物、PC、MPなどの異種のメディアのシームレスかつ、相補的な有効利用に関する枠組みを実証的に検討することである。本研究では、MPやPCをコミュニケーションツールとしての利用ではなく、知識獲得・知識定着を目的とした、人文科学系必修科目でのコンテンツ提供での利用を想定している。具体的には、学習コンテンツの提供、アンケート調査を3種類の異種メディア(印刷物・PC・MP)を用いて行い、メディアと利用時間、利用場所、提出物の質と量、利用者の主観評価の比較分析を行う。



## 研究報告書のお求めは

研究報告書購入ご希望の方は、日本学会事務センター事業部・海外部(学協会刊行物頒布業務)まで、TEL(03-5814-5811), FAX(03-5814-5822)Eメール(sub@bcasj.or.jp)でお申し込みください。

1部1,300円(送料共)です。残部切れの際はご容赦ください。

なお、JSiSE会員で「研究報告」の年間購読(購読料は送料込みで年間4,000円)をご希望の方はJSiSE事務局 TEL(06-4961-6507), Eメール(secretariat@jsise.org)までご連絡ください(年間6回)。この際、ぜひ購読されますようおすすめいたします(教育システム情報学会研究会委員会担当/伊藤紘二)。

# 2005年7月発行号掲載 特集論文募集

締切り：2004年11月1日

テーマ：ユビキタス/モバイル学習環境

## 主旨

近年、携帯電話やPDAなどの携帯情報端末の小型化や普及、さらには、学校や駅、家庭などでの無線LANアクセスなどの整備が進み、「いつでもどこでも」学習できる環境が整いつつある。本論文特集では、このようなユビキタス/モバイル学習環境についての理論的・実践的研究を広く募集します。例えば、携帯電話やPDAを用いた新しい学習環境のご提案やユーザモデル、さらには評価方法などの理論的研究はもちろん、GPSやRFIDタグや各種センサー等を用いて、学校・博物館・図書館等での学習・教育を支援するような先駆的な実践研究も歓迎いたします。是非、ユビキタス/モバイル技術を用いた学習環境として、幅広い分野から、将来を見据えた上での積極的なご投稿をお願いいたします。

本論文特集は、ユビキタス/モバイル学習環境に関連する様々な理論的・実践的研究を広く募集致します。具体的なキーワードとしては次のようなものを挙げることはできますが、これらに限りません。

携帯電話やPDAなどのモバイル機器を用いた学習環境のデザイン・位置情報などの周辺情報を利用した学習環境や学習者適応モデル・無線LAN、Bluetooth、赤外線通信等を利用したグループ学習・協調学習環境・RFIDタグ、GPS、センサーネットワークなどのデバイスを利用した学習環境・ユビキタス/モバイル学習環境での学習理論・学習者モデル・評価方法・ユビキタス/モバイル学習環境構築のためのシステムアーキテクチャやその運用方法・博物館、美術館、学校などでの研究実践事例

## 論文種別

原著論文、ショートノート、実践論文、実践速報を募集します。なお、査読の結果により、異なる種別での採録になることがあります。また、編集委員会の判断により、特集ではなく一般投稿論文としての採録とさせていただきます。

## 投稿要領

一般の論文投稿規程に準じます。

投稿に際しては、原稿の1ページ目および封筒に「ユビキタス/モバイル学習環境」と朱書きしてください。

## スケジュール

投稿締切：2004年11月1日

掲載予定：2005年7月1日発行の学会誌

## 問い合わせ・原稿送付先

教育システム情報学会事務局

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

Tel : 06-4961-6507 Fax : 06-4961-6508

園田学園女子大学 情報教育センター内

E mail : secretariat@jsise.org